



年に一度は宿泊研修もあります(いこいの村沖縄:名護市にて)

高齢者がいきいきと学ぶ！ 沖縄県かりゆし長寿大学校

那覇市首里石嶺の県総合福祉センターでは、高齢者がはつらつと、講義やスポーツレクリエーションを楽しんでいます。

毎年入学希望者が増え続けている、その活動を紹介します。



かりゆし長寿大学校は平成三年、高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加を促進するために開校されました。

講義は週一回で二年間行われ、必修科目、選択科目、特別講座のカリキュラムで行われています。必修科目では「文化と歴史」、高齢者の健康長寿」「長寿と食生活」など九科目、選択科目は「陶芸」「園芸」「絵画」「手工芸」の中から一科目を選択する



ことになっていきます。また、特別講座では市町村合併などの時事問題を学んだり、地場産業や福祉施設などの視察研修を実施しています。

年々応募も増えているため、平成十六年度から一クラス増設し、百六十名定員としました。

なお、同学校の運営は、県が委託し、明るい長寿社会づくり推進機構の(財)沖縄県いきいきふれあい財団が行っています。



卒業生への期待

(財)沖縄県いきいきふれあい財団

卒業生には、学校で学んだことを糧として、卒業後も健康・生きがいづくりを継続するとともに、地域のリーダーとして長寿社会の推進役となることを強く期待しています。

今年一月に十三期生が卒業し、かりゆし長寿大学校同窓会の会員も千九十五名となりました。

同窓会では、毎年各期対抗グラウンドゴルフ大会や、各期のサークル活動成果を披露する文化活動発表会などを実施し、卒業生の親睦を図るとともに、使用済みテレカ・切手を収集し、社会福祉協議会に贈呈する

などのボランティア活動も行われています。

また、同期会でも地域の清掃や福祉施設の慰問をするなどの社会参加活動が盛んに行われています。

財団の実施したアンケートによれば、何らかの活動をしている人は九七%にのぼります。そのうちボランティア活動が四七%、地域活動が二七%を占めており、卒業生は卒業後も財団の期待に応えて、地域で活躍していることがわかります。

財団としてもあらゆる面から支援していききたいと思っています。



卒業しても、「皆が同級生」
好奇心を持って幅広く活動を

第9期卒業生
かりゆし長寿大学校同窓会会長
高良 博さん

私はもともと出不精だったのですが、退職してから何か始めようと思い、かりゆし長寿大学に入学しました。学校は前歴も年齢も関係なく「みんなが同級生」という自由な場で、たくさんのつながりができました。

卒業した後も、9期生の集まりである「九寿会」や、各期の卒業生からなる同窓会に属し、様々な活動をしています。

各期対抗のスポーツ大会や発表会のほか、いきいきふれあい財団から委託を受けてイベントに参加したりもします。11月はかりゆし県民フェスティバルに参加し、グラウンドゴルフ交流大会を受け持ちました。



そのほか、同窓会以外で、それぞれ地域のサークル・団体に活動している卒業生も大勢います。

かりゆし大学校同窓会運営委員会会議

沖縄県かりゆし長寿大学校 平成17年度 学生募集

応募資格

県内に居住し、平成17年4月1日前に満60歳に達しており、学習意欲があつて、通学可能な方(卒業生は除く)

定員

160名(男性80名 女性80名)
定員を超える申込みの場合は抽選により決定します。

募集期間

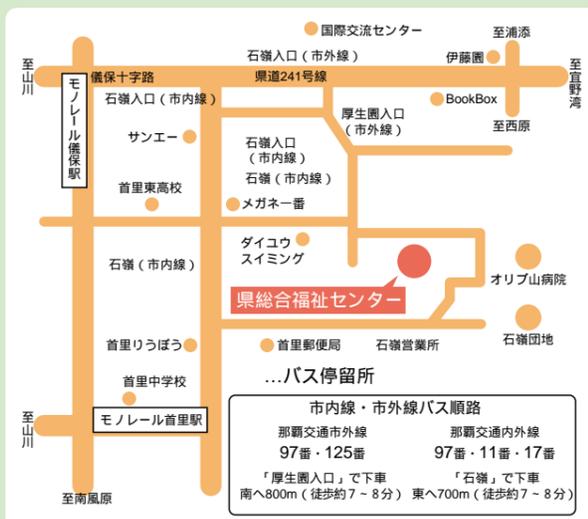
平成17年1月6日(木)から1月20日(木)まで
(土・日・祝祭日を除く9:00~12:00、
13:00~17:00に受付)

費用

受講料7,000円(資料代)及び教材費等は受講者負担となります

応募方法

(財)沖縄県いきいきふれあい財団備え付けの願書に必要事項を記入し、本人が直接提出(印鑑を持参のこと)



お問い合わせ
(財)沖縄県いきいきふれあい財団
〒903-0804
那覇市首里石嶺町4-373-1
(沖縄県総合福祉センター3階)
TEL.098-887-1344 FAX.098-887-1349
ホームページ <http://www.nenrin.or.jp/okinawa/>

